

令和元年度第9回教育研究評議会議事要旨

日 時 令和元年12月4日(水) 19時21分～19時39分

場 所 第1会議室

出席者 20名

和田学長, 江頭理事(総務・財務担当副学長),
鈴木理事(教育担当副学長), 高橋評議員(保健管理センター所長),
尾形評議員(言語センター長), 平沢評議員(情報総合センター長),
佐野評議員(CGS教育支援部門長),
プラート評議員(CGSグローバル教育部門長),
穴沢評議員(国際連携本部長), 松本評議員(経済学科長),
林評議員(商学科長), 多木評議員(企業法学科長),
沼澤評議員(社会情報学科長), 中川評議員(一般教育系学科主任),
金評議員(現代商学専攻長), 齋藤評議員(アントレプレナーシップ専攻長),
中島評議員(経済学科教授), 坂柳評議員(商学科教授),
片桐評議員(企業法学科教授), 佐山評議員(社会情報学科教授),
山田評議員(言語センター教授)

公欠者 3名

近藤副学長, 李評議員(CGS産学官連携推進部門長), 中村評議員(一般教育系教授)

欠席者 2名

堺評議員(アントレプレナーシップ専攻)

議事に先立ち、和田学長から、議題7. 「教員人事制度検討ワーキング・グループの設置について」を追加する旨発言があった。その後事前に配付している前回(11月6日)開催の学部・大学院合同教授会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 教員の採用について

和田学長から、審議資料1-1～1-5(回収)に基づき、教員の採用について以下のとおり提案があった

〈1件目: CGSグローバル教育部門における任期付き専任教員〉

- ・採用予定者 森谷 亮太(もりや りょうた)
- ・採用予定年月日 令和2年4月1日
- ・採用予定職種 講師
- ・任期 令和4年3月31日まで(再任不可)

〈2件目: CGSグローバル教育部門における専任教員〉

- ・採用予定者 小林 広治(こばやし こうじ)
- ・採用予定年月日 令和2年4月1日
- ・採用予定職種 准教授

〈3件目：言語センター 日本語担当教員〉

- ・採用予定者 中村 稔行（なかむら としゆき）
- ・採用予定年月日 令和2年4月1日
- ・採用予定職種 准教授

〈4件目：一般教育系 社会学担当教員〉

- ・採用予定者 須永 将史（すなが まさふみ）
- ・採用予定年月日 令和2年4月1日
- ・採用予定職種 准教授

〈5件目：一般教育系 哲学担当教員〉

- ・採用予定者 宮田 賢人（みやた けんと）
- ・採用予定年月日 令和2年4月1日
- ・採用予定職種 准教授

提案後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題2. 教員の割愛について

和田学長から、教員の割愛について、以下のとおり提案があった。

○商学科 二村 雅子（ふたむら まさこ）准教授について、令和2年4月1日付けで、大阪産業大学経営学部経営学科教授に採用したい旨依頼があったのでご審議いただきたい。

引き続き、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、1月8日開催予定の学部・大学院合同教授会にて報告する予定である旨発言があった。

議題3. 任期付き教員の再任審査について

和田学長から、審議資料3（回収）に基づき、任期付き教員の再任審査について、以下のとおり提案があった。

【審査対象者】

- ・所属 グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門
- ・職・氏名 准教授・後藤 英之（ごとう ひでゆき）
- ・任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日

提案後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題 4. 国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について

和田学長より、国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について、以下のとおり提案があった。

- 学長選考会議の学内委員は、尾形弘人委員、片桐由喜委員、沼澤政信委員の3名にお務めいただいていたが、片桐委員は、11月6日に実施した学長候補予定者の推薦投票の結果、得票上位5名以内の者となり、第4回学長選考会議において、学長候補予定者として選出されたところである。
- 学長選考規程第17条では、「委員が候補予定者に選出された場合は、委員としての資格を失うものとし、学長は、直ちに補欠の委員を選任する手続きを行わなければならない。」と規定されており、片桐委員は学長選考会議委員としての資格を失うこととなった。
- ついては、後任の委員について、本学組織・運営規程第4条第2号の規定に基づき、本会議から1名を選出することとしたい。
- なお、委員の任期は、学長選考会議規程第3条の規定により教育研究評議会評議員の任期と同一となるが、今回は補欠という形になりますので、任期の開始日は、本日の日付としたい。

その後、和田学長から、委員の選出方法については、従前どおり投票によることとし、以下の方法で行いたい旨提案があり、了承された。

〈学長選考会議委員の選考方法〉

1. 単記無記名投票により、得票上位の者1名を学長選考会議委員として選出する。
2. 得票上位の者の得票が同数の場合は、得票同数の者について再投票を行う。
3. 再投票を行った結果、再度、得票が同数になった場合は、年長者を委員として選出する。
4. 開票の立会いについては、金現代商学専攻長に依頼する。

引き続き、投票が行われ、開票の結果、得票上位の者として、平沢評議員が選出された。

その後、平沢評議員の就任の承諾が確認された。

議題 5. 小樽商科大学大学院学則の一部改正（案）について

和田学長から、審議資料 5 に基づき、小樽商科大学大学院学則の一部改正（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、本件については、12月16日開催の役員会に附議する旨発言があった。

議題 6. エクス＝マルセイユ大学との国際協力協定及び学生交換協定の更新について

穴沢国際連携本部長から、審議資料 6 に基づき、エクス＝マルセイユ大学との国際協力協定及び学生交換協定の更新について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題 7. 教員人事制度検討ワーキング・グループの設置について

和田学長から、審議資料 7 に基づき、教員人事制度検討ワーキング・グループの設置について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項 1. 平成 30 年度に係る業務の実績に関する評価結果について

和田学長から、報告資料 1 に基づき、平成 30 年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

○次回開催について

次回の教育研究評議会は、1月8日（水）現代商学専攻教授会終了後に開催する予定である。